

9 チャンネル マルチ プレクサ

MCS-940A NTSC

このたびは、9 チャンネル マルチ プレクサ MCS-940A をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、かならずこの取扱説明書をお読みにになり、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。
お読みになったあとは、後日お役に立つこともありますので、かならず保管してください。

概要

MCS-940A は、最大 9 台のカメラの各映像や、4 分割、9 分割画面をモニタする機能、また、カメラの映像を順次切換えて VCR に出力する機能や、VCR に記録された映像の中から任意のチャンネル映像を選択してモニタする機能を持った機器です。

特長

- 非同期のカメラを使用できますので、システム アップが簡単にできます。
- カラー方式を採用していますが、モノクロ カメラも使用することができます。
- モニタ出力より 4 分割、9 分割画面を見ることができますので、集中監視ができます。
- カメラの 4 分割画面をリアル(1/60 リフレッシュ)映像で出力します。
- 切換えノイズのない、オート シーケンシャル機能を備えています。
- モニタ出力を 2 系統備えています。
- 各チャンネル映像に最長 8 文字のタイトル設定ができます。(英数字,カタカナ,記号)
- 連続モード,タイム ラプス モードのどちらの VCR にも対応しています。
また、CPU によるフィールド切換え(002~999)を備えています。
- ボタン操作を禁止するロック機能を備えています。
- アラーム入力はメイク接点,ブレイク接点、いずれの入力にも対応しています。
- アラーム発生情報を最大 100 件まで記録するアラーム イベント メモリを備えています。
- アラーム入力時、VCR 出力映像のインターリーブ切換え機能を備えています。
- 日時表示機能を備えています。
- レジューム機能を備えています。電源を OFF にしたときの画面を記憶し、
次の電源立上げ時、同じ画面で立ち上がります。(監視モードに限る)
- ボタン操作(1 と 9 ボタンの 2 つ押し)による時刻の 30 秒補正ができます。
- RS-232C または RS-485 を備えています。
- ラック マウントが可能です。(取付金具はオプション)

構成

- 本体.....1
- 電源ケーブル(電源コードセット).....1
- 予備ヒューズ(本体内蔵).....1
- 取扱説明書(本書).....1

目次

安全上のご注意	1	4.ビデオ ロス表示の設定 (VIDEO LOSS)	
各部の名称とはたらき		4-1.MONITOR OUT	16
■前面部	4	4-2.VCR OUT	16
■背面部	5	5.タイトル文字の設定 (TITLE)	
接続方法		5-1.SET SELECT	16
■システム例	6	5-2.POSITION SELECT	17
■外部信号入出力端子の接続例	7	5-3.MONITOR FULL	17
■RS-485 の接続例	8	5-4.MONITOR MULTI	17
基本動作		5-5.VCR OUTPUT	17
■電源スイッチ 入/切	9	6.ライブ チャンネルの設定	
■ライブ モード	9	(LIVE CHANNEL)	
●単画面表示	9	6-1.SEQUENCE FULL	18
●分割画面表示	9	6-2.SEQUENCE MULTI	18
●自動切換え(オート シーケンス)	9	6-3.VCR	18
■VCR 録画	9	7.ビデオ セット アップの設定	
■VCR 再生	10	(VIDEO SET UP)	
●フリーズ	10	7-1.LIVE COLOR	19
●チャンネル表示	10	7-2.P.B. COLOR	19
●ライブ モードに戻る	10	7-3.RECORD COLOR	19
■VCR バイパス出力	10	8.VCRトリガ入力の設定 (VCR TRIGGER)	
■アラーム入出力	11	8-1.MODE	19
■インターリーブ	11	8-2.FIELD	19
■リモート操作	11	9.その他の設定 (OTHER)	
■ボタン ロック	11	9-1.REMOTE IN	19
メニュー設定		9-2.BORDER LINE	19
■メニュー表示	12	9-3.INTERFACE	20
■メニューの操作方法	12	9-4.DATA RATE	20
1.アラーム イベント記録		9-5.AUTO SEQ. TIME	20
(EVENT MEMORY)	13	9-6.SPOT MONITOR	20
2.アラームの設定 (ALARM)		9-7.SLAVE ADDRESS	20
2-1.EVENT ERASE	13	ヒューズの交換方法	21
2-2.MODE	13	ラック マウント方法	
2-3.DURATION TIME	13	■ゴム足の取り外しかた	21
2-4.VCR PATTERN	14	■金具の取り付けかた	21
2-5.RETURN	14	製品仕様	22
2-6.CAMERA←P.B.	14	故障かなと思う前に…	23
2-7.EVENT NUMBER	14	品質保証規定	23
2-8.INPUT CONTACT	14	おことわり	23
3.時計の設定 (TIME SIGNAL)			
3-1.30SEC. ADJUST	15		
3-2.CLOCK. ADJUST	15		
3-3.DISPLAY	15		
3-4.MONITOR FULL	15		
3-5.MONITOR MULTI	15		
3-6.VCR OUTPUT	15		

安全上のご注意 かならずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

■絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

	△記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

 警告	
●本機のケース・裏パネル等はずさない！ 内部には高圧の部分があり、感電の原因となります。 ・改造などは絶対におこなわないでください。 ・内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。	 
●本機を濡らさない！ 火災・感電の原因となります。 ・雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。 ・風呂・シャワー室などの水場では使用しないでください。 ・本機の上に水などの入った容器を置かないでください。 ・万一水などが中に入ったときには、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。	  
●本機の開口部から金属物や燃えやすいものなどの異物を差し込まない！ 万一異物が入ったときには、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。	 
●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない！ 感電の原因となることがあります。	
●電源プラグやコンセントにほこりなどを付着させない！ ほこりによりショートや発熱が起こって火災の原因となります。湿度の高い部屋、結露しやすいところ、台所やほこりがたまりやすい場所のコンセントを使っている場合は、特に注意してください。	
●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない！ コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。かならずプラグを持って抜いてください。	
●雷が鳴り出したら使わない！ 電源プラグや接続ケーブルには絶対に触れないでください。感電の原因となります。	
●アース線を接地する 感電を避けるためにならず接地をしてください。アース線は絶対にガス管に接続しないでください。爆発や火災の原因となります。	



警告

- 電源電圧 100V±10%以外の電圧で使用しない！
火災・感電の原因となります。



- 煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



- 本機が故障した場合、落としたりケースが破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店に修理をご依頼ください。



- 移動させる場合は、かならず電源スイッチを切り、プラグを抜き、機器間の接続ケーブルをはずす！
コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。



- 長期間使用しないときは、安全のためかならず電源プラグをコンセントから抜く！
火災の原因となることがあります。



注意

- 本機の上に重いものを置かない！
バランスがくずれて倒れたり落下してけがの原因となることがあります。
また、重みによって故障の原因となることがあります。



- コード類は正しく配線する！
・電源コードを熱器具に近づけないでください。
・電源コードを本機の下敷きにしないでください。
・足などにケーブルを引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。



- 設置場所にご注意ください！
・不安定な場所に置かないでください。
・磁気を発生する機器の近くに置かないでください。
・直射日光のあたるところや熱器具の近くに置かないでください。
・冷凍倉庫や外気にさらされるなど、温度変化の激しいところには置かないでください。
・振動や衝撃の加わる場所には置かないでください。
・腐食性ガスのあたるところには置かないでください。
・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湿気があたるところには置かないでください。



- 本機の通風孔をふさがない！
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
壁から 10cm 以上離して設置してください。また、次のような使いかたはしないでください。
・本機を仰向けや横倒し、逆さまにする。
・風通しの悪い狭い所に押し込む。
・じゅうたんや布団の上に置く。
・テーブルクロスなどをかける。



■定期点検とお手入れについて

※お手入れの際は安全のため、電源スイッチを切り、電源コードのプラグを抜いてからおこなってください。



注意

●電源コードが傷んだ(芯線の露出・断線など)場合は交換を依頼する！

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店に交換をご依頼ください。

●内部の掃除について

内部の掃除については、お買い上げの販売店にご相談ください。

機器の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災・故障の原因となることがあります。

●電源プラグの掃除をしてください

電源プラグを長時間差し込んだままにしておくと、差し込み部分にほこりがたまり、火災の原因となることがあります。

年に一度くらいは、プラグを抜いてほこりを取ってください。

●カバーは乾いた布で拭いてください

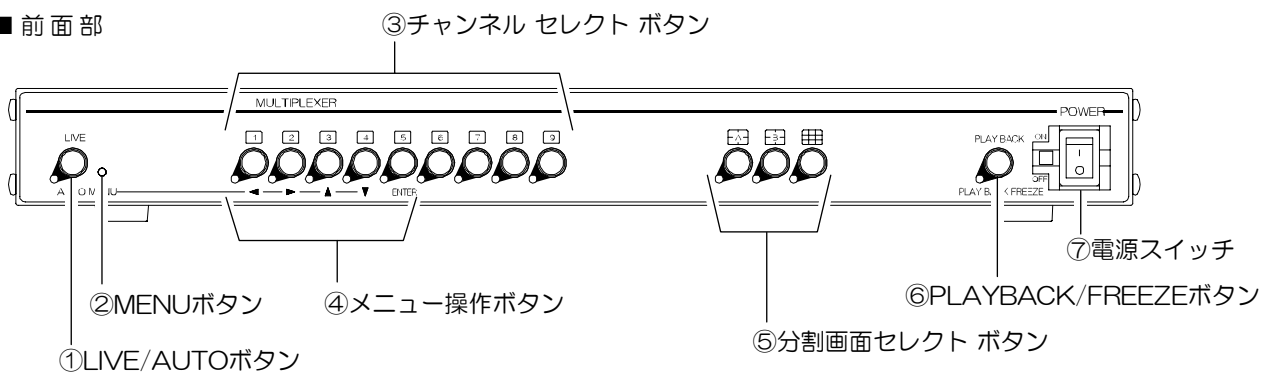
汚れがひどいときは、うすめの中性洗剤液を浸しよく絞った布で拭き取ってから、から拭きしてください。

このとき、液が内部に入らないように注意してください。

ベンジン、シンナー、アルコールなどの液体クリーナーやスプレー式クリーナーは使用しないでください。

各部の名称とはたらき

■ 前面部



① LIVE/AUTO ボタン

- (1) ライブ モード・単画面時に押すと単画面 1～9 の自動切換え動作となります。
- (2) ライブ モード・分割画面時に押すと 4 分割画面 A,B,9 分割画面の自動切換え動作となります。
- (3) ライブ モード時に 2 秒以上長押しすると、VCR 映像が直接モニタ映像出力から出力されます。
- (4) タイム ラプス VCR からのトリガ信号が入力されると LED が点滅します。

② MENU ボタン

ライブ モード時に押すとメニューを表示します。メニュー表示中に押すとライブ モードに戻ります。

③ チャンネル セレクト ボタン(1～9)

- (1) ライブ モード時およびプレイバック モード時は、1～9 のボタンを押すと単画面 1～9 がモニタに表示されます。表示中のチャンネルの LED が点灯します。
- (2) アラーム動作中は、アラームの入ったチャンネルの LED が点滅します。
- (3) ライブ モード時に 1 と 9 のボタンを同時に押すと、時刻の 30 秒補正をします。

④ メニュー操作ボタン

- (1) ◀, ▶, ▲, ▼ ボタン
メニュー表示中にカーソル (▷) や点滅文字を移動したり、設定値を変更したりします。
- (2) ENTER ボタン
メニュー表示中にカーソル (▷) の位置や設定値を決定します。

⑤ 分割画面セレクト ボタン

ライブ モード時およびプレイバック モード時にそれぞれのボタンを押すと 4 分割画面 A,B,9 分割画面がモニタに表示されます。押されたボタンの LED が点灯します。

⑥ PLAYBACK/PLAYBACK FREEZE ボタン

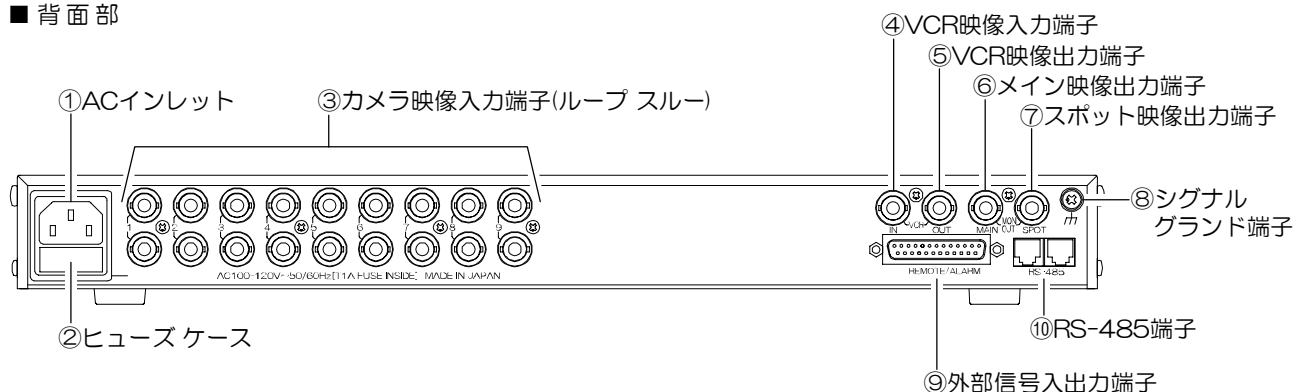
- (1) ライブ モード時に押すと VCR の再生をおこないます。(プレイバック モード)
- (2) プレイバック モード時に押すと静止状態になり LED が点滅します。

⑦ 電源スイッチ

本機の電源を ON/OFF します。

各部の名称とはたらき

■ 背面部



① AC インレット

電源入力コネクタです。製品付属の電源ケーブルを接続してください。

※付属の電源ケーブル(電源コードセット)は本機以外の電気機器では使用できません。

② ヒューズ ケース

ケース内に電源ヒューズが固定されています。予備ヒューズも1個内蔵しています。使用中のヒューズが溶断したときは、予備と交換してください。(21 ページ 参照)

③ カメラ映像入力端子(1～9)

TV カメラの映像信号を入力してください。(75Ω 終端)ループスルー時は75Ω 終端 OFF となります。

④ VCR 映像入力端子

VCR のビデオ出力端子と接続してください。(75Ω 終端)

⑤ VCR 映像出力端子

VCR の映像入力端子と接続してください。(75Ω 終端)

⑥ メイン映像出力端子

TV モニタの映像入力端子と接続してください。分割画面,VCR 再生画面,メニュー等はこの端子から出力します。(75Ω 終端)

⑦ スポット映像出力端子

TV モニタの映像入力端子と接続してください。ライブ モード単画面 1～9 のいずれかを出力します。タイトルは表示されません。(75Ω 終端)

⑧ シグナル グランド 端子

信号用接地端子です。機器間相互のグランドを取るために接地してください。

⑨ 外部信号入出力端子

(1) リモート/アラーム入力端子

メニューでリモート/アラームを設定します。アラームとして使うときは外部センサ等の信号を各チャンネルに入力するとアラーム動作をします。リモートとして使うときは信号を各チャンネルに入力すると画面表示が切り替わります。

(2) トリガ信号入力端子

タイム ラプス VCR からの録画用トリガ信号を入力します。

(3) アラーム出力端子

アラーム動作時に信号を出力します。
(オープン コレクタ 出力 DC12V 100mA 以下)

(4) RS-232C 端子

コンピュータ等によるリモート制御信号を入力します。

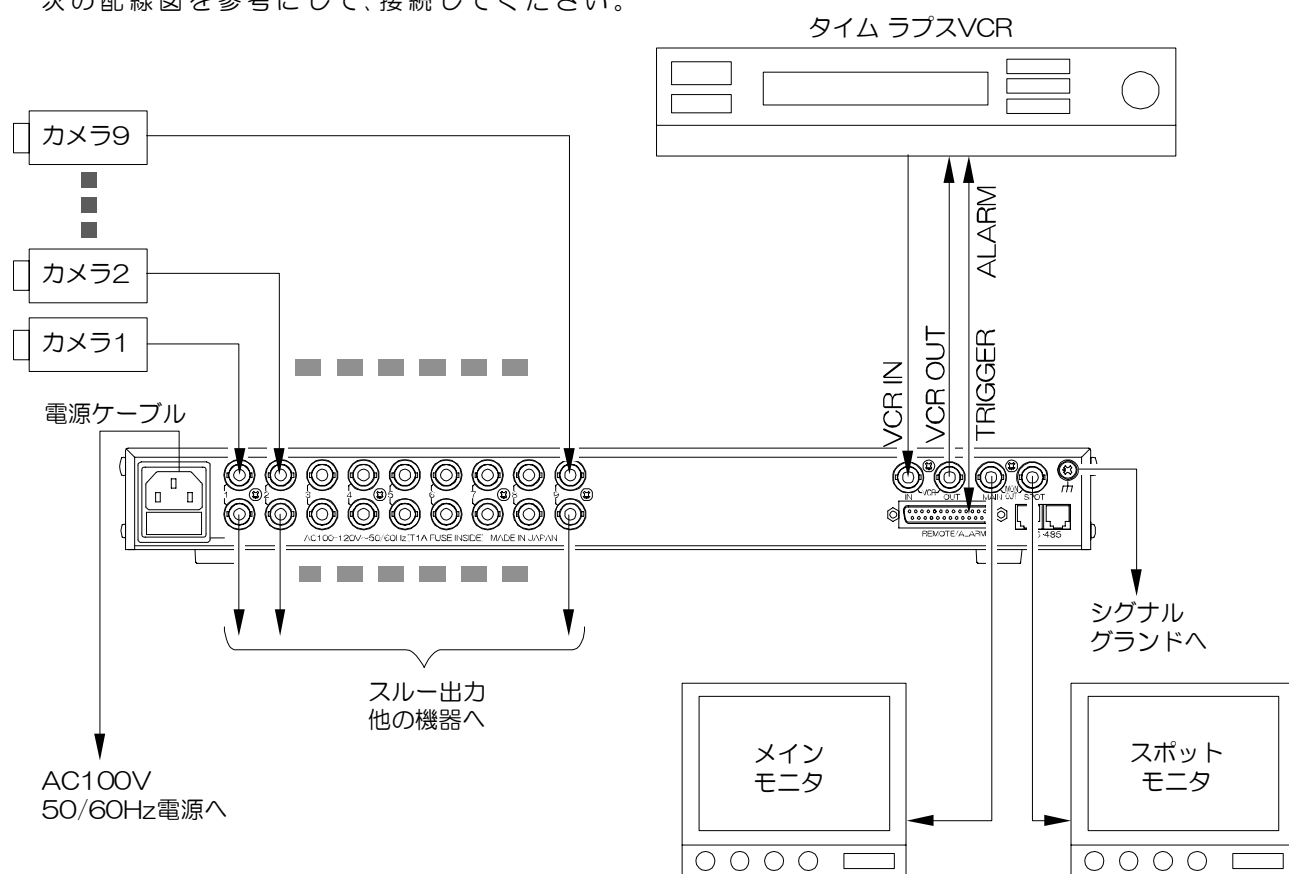
⑩ RS-485 端子

RS-485 による制御の入出力端子です。(Half Duplex)6 極 4 芯 RJ-11 ストレートケーブルを使用してください。

接続方法

■ システム例

次の配線図を参考にして、接続してください。



- 注意
- TV カメラはカメラ映像入力端子 1 から順に間隔をあけずに接続してください。
 - TV カメラ映像を入力しないチャンネルは、かならずメニューで SKIP の設定にしてください。
 - 電源はすべての接続が終わってからつないでください。
 - 電源をつなぐ前にかならずコンセントの電圧を確認してください。
 - 本機の各映像入力端子および出力端子には電圧を加えないでください。
 - 付属の電源ケーブル(電源コードセット)は本機以外の電気機器では使用できません。

接続方法

■ 外部信号入出力端子の接続例
次の配線図を参考にして接続してください。

※リモート/アラーム 1~9 を使うときは、メニュー設定 “9. OTHER” 内の “1. REMOTE IN” で ALARM/REMOTE を選択してください。(19 ページ 9-1.REMOTE IN 参照)

※リモート/アラーム 1～9 をアラームとして使うときは、メニュー設定“2. ALARM”内で各種設定ができます。(13～14 ページ 2.アラームの設定 参照)

※リモート/アラーム 1～9 をリモートとして使うときは、下表をご参照ください。1～9 に単
独で入力されると 1～9 の単画面表示となり、18(SHIFT)と組み合わせると、分割画面表示や各
種動作をおこないます。

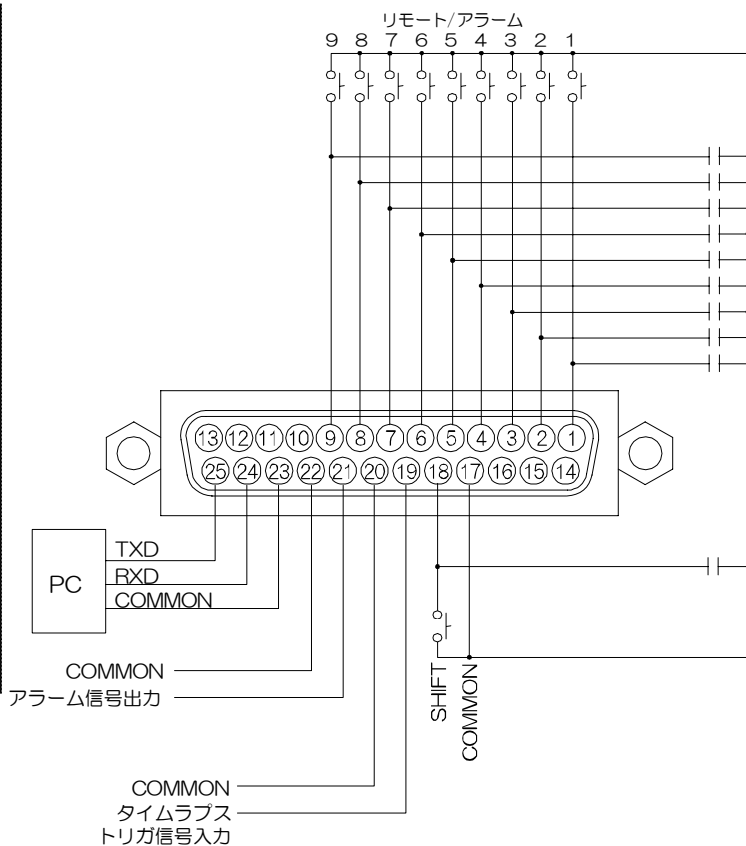
※23～25にRS-232C規格の信号を入力するときは、メニュー設定“9. OTHER”内の“3. INTERFACE”で“RS-232C”を選択してください。
(20ページ 9-3.INTERFACE 参照)

注意 ●各端子には電圧を加えないでください。

- TV カメラ映像を入力していないチャンネルにはリモート/アラーム信号を入力しないでください。
- ノイズの多い場所では入力およびスイッチの両端に $0.01 \sim 0.1 \mu F$ のセラミックコンデンサを取付けてください。
- リモート信号の入力は、メイク接点でおこなってください。
- アラーム信号を入力する場合は、タイムラプス VCR の名称およびアラームモードの有無は、メーカーにより異なりますのでタイムラプス VCR の取扱説明書をご参照ください。
- アラーム時 VCR 記録モードが“NON E”に設定されている場合は、21(アラーム信号出力)端子をタイムラプス VCR のアラーム信号入力端子に接続しないでください。

(14 ページ 2-4.VCR PATTERN 参照)

- 注意** ●各端子には電圧を加えないでください。
- TV カメラ映像を入力していないチャンネルにはリモート/アラーム信号を入力しないでください。
 - ノイズの多い場所では入力およびスイッチの両端に $0.01 \sim 0.1 \mu F$ のセラミックコンデンサを取付けてください。
 - リモート信号の入力は、メイク接点でおこなってください。
 - アラーム信号を入力する場合は、タイムラプス VCR の名称およびアラームモードの有無は、メーカーにより異なりますのでタイムラプス VCR の取扱説明書をご参照ください。
 - アラーム時 VCR 記録モードが“NON E”に設定されている場合は、21(アラーム信号出力)端子をタイムラプス VCR のアラーム信号入力端子に接続しないでください。
- (14 ページ 2-4.VCR PATTERN 参照)



PIN No.	機 能		PIN No.	機 能	
	リモート時	： アラーム時			
1	単画面 1 表示	+SHIFT：4 分割 A 表示	14	未使用	
2	単画面 2 表示	+SHIFT：4 分割 B 表示	15	未使用	
3	単画面 3 表示		16	未使用	
4	単画面 4 表示		17	COMMON	
5	単画面 5 表示	+SHIFT：9 分割表示	18	リモート SHIFT	
6	単画面 6 表示		19	タイムラプス トリガ信号入力	
7	単画面 7 表示		20	COMMON	
8	単画面 8 表示	+SHIFT：自動切換え,ライブ	21	アラーム信号出力	
9	単画面 9 表示	+SHIFT：再生,フリーズ		オープン コレクタ DC12V 100mA 以下	
10	未使用		22	COMMON	
11	未使用		23	COMMON	
12	未使用		24	RS-232C RXD	
13	未使用		25	RS-232C TXD	

接続方法

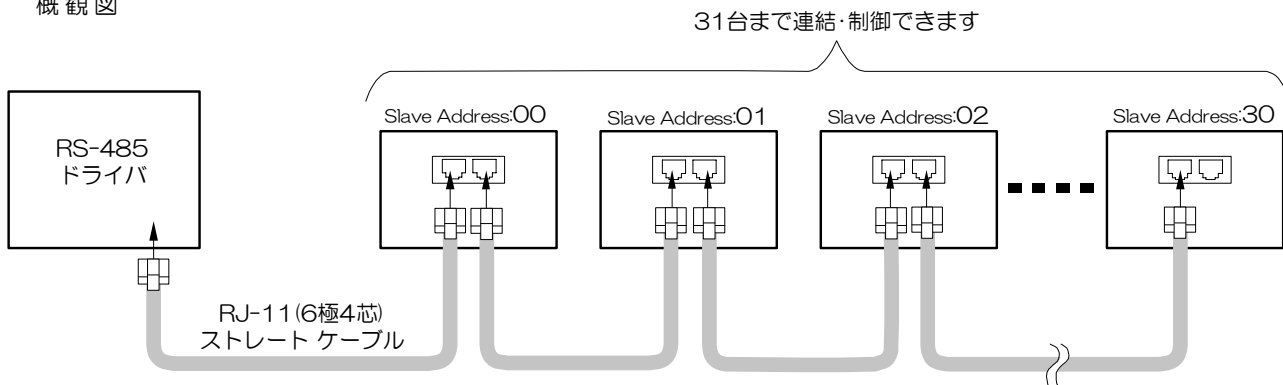
■ RS-485 の接続例

背面の RS-485 コネクタを使用して、コンピュータ等の制御機器からのコマンドにより操作や設定などのリモート制御をおこなうことができます。制御機器の RS-232C コネクタから送信されたコマンドは RS-485 ドライバを介して MCS-940A で受信されます。

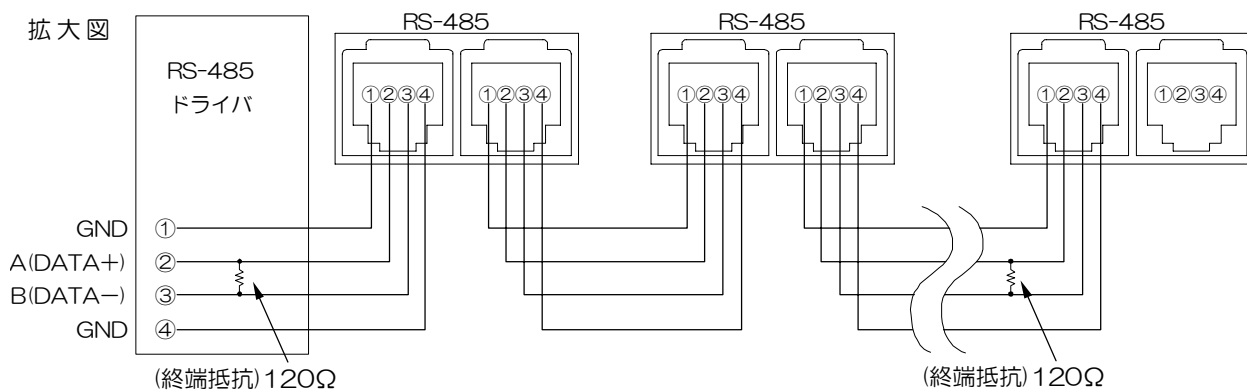
MCS-940A は下図のように 31 台まで接続し、スレーブ アドレスを設定することにより各々の MCS-940A を制御することができます。

ケーブルは RJ-11 ストレート ケーブルを使用し、最長 1,200 メートルまで対応できます。

概観図



※送受信の最初と最後の機器に、下の拡大図のように終端抵抗を取り付けてください。



※RS-485 コマンド リストについては弊社営業部までお問合せください。

※メニュー設定 “9. OTHER” 内 “3. INTERFACE” で “RS-485” を選択してください。
(20 ページ 9-3.INTERFACE 参照)

※メニュー設定 “9. OTHER” 内 “7. SLAVE ADDRESS” で各 MCS-940A のスレーブ アドレスを設定してください。
(20 ページ 9-7.SLAVE ADDRESS 参照)

基本動作

操作上のご注意——この説明書をよくお読みになり、記載されていない意味のない操作および乱暴な操作は絶対におこなわないでください。

■電源スイッチ 入/切

各種接続がしっかりおこなわれているかを確認してください。
電源スイッチを ON にして、LIVE ボタンの LED が点灯することを確認してください。
このとき映像出力端子から映像が出ていることを確認してください。

※デフォルト セット——MENU ボタンを押しながら電源スイッチを入れると、モニタ画面左上に“DEFAULT SET”の文字が点滅し、各種設定が工場出荷時設定に戻ります。
また、アラーム イベント記録も消去されます。

※最初に電源を入れたら、かならず日時の設定をおこなってください。
設定方法は 15 ページ **3.日時の設定** をご参照ください。
(日時のバックアップ期間は電源 OFF 状態で約 1 ヶ月です)

使用が終わったら電源スイッチを OFF にし、各 LED が消灯することを確認してください。

■ライブ モード

TV カメラの映像がリアル タイムでモニタに表示されている状態がライブ モードです。

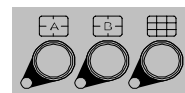
●単画面表示

チャンネル セレクト ボタン(1~9)を押すと、そのチャンネルが単画面でモニタに表示され、表示チャンネルのボタンの LED が点灯します。



●分割画面表示

分割画面セレクトボタンを押すと、各チャンネルが分割表示されます。
表示中の分割画面に対応するボタンの LED が点灯します。



※タイトルの表示文字数

4 分割:8 文字

9 分割:チャンネル数字のみ

1	2
3	4

4分割A

5	6
7	8

4分割B

1	2	3
4	5	6
7	8	9

9分割

●自動切換え(オート シーケンス)

- ・単画面表示中に AUTO ボタンを押すと単画面がチャンネル 1→2→3→4→…→9→1→2→…と自動で切換わります。
- ・分割画面表示中に AUTO ボタンを押すと分割画面が 4 分割 A→4 分割 B→9 分割→4 分割 A→…と自動で切換わります。
- ・特定のチャンネルや分割画面をスキップすることもできます。
(18 ページ **6.画面表示の設定** 参照)



■VCR 録画

- ① VCR に録画するために必要な準備・設定をおこなってください。
- ② 試し録画をおこなってください。試し録画の最中には、LIVE ボタンを 2 秒以上長押しして、VCR(録画)側映像直接出力で VCR および本機で設定したとおりの出力になっていることを確認してください。
- ③ 試し録画をしたビデオ テープを再生して、映像がきちんと録画されていることを確認してください。
- ④ 本機がライブ モードであることを確認し、VCR の録画開始操作をおこなってください。

注意 ●使用するタイム ラプス VCR で、オーディオ信号を同時に記録するモード(A12H,A24H 等)では使用できません。
●古いビデオ テープで録画した場合、映像が正確に再生されないことがあります。

基本動作

■ VCR 再生

ライブ モード時に、VCR 機器を再生状態にして PLAYBACK ボタンを押すと、プレイバックモードになり再生映像が表示されます。

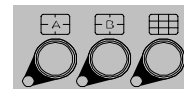
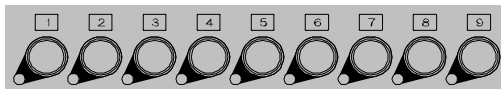


● フリーズ

プレイバック モード時に PLAYBACK FREEZE ボタンを押すと、再生映像が静止し、画面右上に“FREEZE”の文字が点滅します。もう一度 PLAYBACK FREEZE ボタンを押すと静止が解除されます。

フリーズ中は PLAYBACK FREEZE ボタン以外のボタンは操作できません。

● チャンネル表示

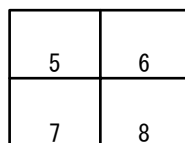


チャンネル セレクト ボタン(1~9)および分割画面セレクトボタンを押すと、単画面 1~9 や各種分割画面を再生表示します。

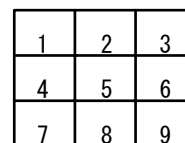
※再生映像の自動切換え(オート シーケンス)表示はできません。



4分割A



4分割B



9分割

● ライブ モードに戻る

LIVE ボタンを押すとライブ モードに戻ります。



- 注意 ● VCR 再生時、録画映像が正確に再生できない場合は、VCR のトラッキングを再調整してみてください。
- 接続する TV モニタによっては、再生映像を分割画面で見るとタイトル文字が読みにくいことがあります。
- VCR 録画中にタイム ラプス VCR がアラーム状態となり、録画時間モードが変化したところを再生したときや、再生時に早送り・巻き戻し操作をしたときは、再生画面が乱れることがあります。気になるときは、もう一度チャンネル セレクト ボタンを押してみてください。
- 録画中にアラーム信号が入力・解除されたところを再生すると、VCR のノイズにより他のチャンネルに画像が飛び込んだりすることがあります。

■ VCR バイパス出力

VCR 入力映像をモニタに直接表示させる場合は、ライブ モード時に LIVE ボタンを 2 秒以上長押しします。ライブ モードに戻るには、AUTO、チャンネル セレクト、分割画面セレクト ボタンのいずれかを押します。

VCR バイパス出力を使用する目的として次の場合があります。

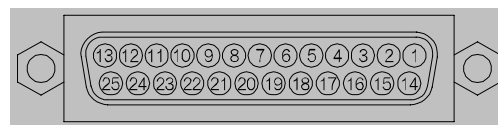
- ・ 本機を使用して録画した再生映像をチャンネル識別等せず直接モニタに表示させる(録画の確認)
- ・ 本機以外で録画した再生映像(映画や通常のビデオ等)をモニタに表示させる
- ・ 接続されている VCR 機器の設定画面をモニタに表示させる



基本動作

■ アラーム入出力

外部信号入出力端子の 1～9 ピンにセンサ等の信号が入ると、そのチャンネルが単画面表示となり、画面左下に“ALARM”の文字が表示されます。



信号の入力はアラーム イベントに記録されます。
(13 ページ 1.アラーム イベント記録 参照)

アラーム保持時間中に、AUTO、チャンネル セレクト、分割画面セレクト ボタンのいずれかを押し、押したボタンの画面表示になり、アラーム動作は解除されます。

外部信号入出力端子の 21 ピンからはアラーム保持時間中に信号が出力されます。
(オープン コレクタ出力 DC12V 100mA 以下)

- ※メニュー設定“9. OTHER”内の“1. REMOTE IN”が“ALARM”に設定されていることをご確認ください。(19 ページ 9-1.REMOTE IN 参照)
- ※メニュー設定“2. ALARM”内でアラームの詳細な設定をおこなってください。
(13～14 ページ 2.アラームの設定 参照)

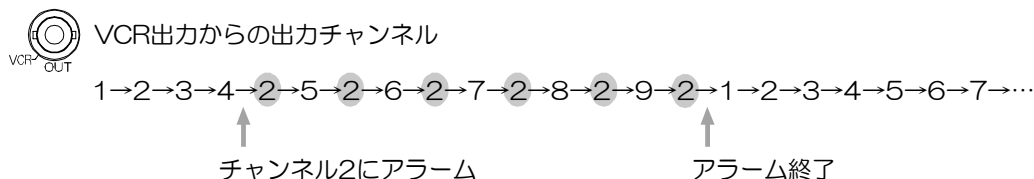
注意 ●メニュー表示中はアラームを受け付けません。

■ インターリーブ

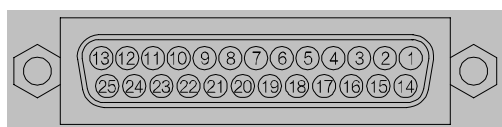
メニュー設定“2. ALARM”内の“4. VCR PATTERN”が“NONE I”または“2H I”に設定されていると、アラーム入力時にインターリーブ動作をおこないます。

(14 ページ 2-4.VCR PATTERN 参照)

インターリーブ動作とは、下図のようにアラーム入力のあったチャンネルが高密度で録画されるものです。



■ リモート操作

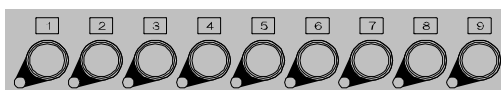


メニュー設定“9. OTHER”内の“1. REMOTE IN”で“REMOTE”を選択してください。
(19 ページ 9-1.REMOTE IN 参照)

背面の外部信号入出力端子の 1～18PIN への入力によって、右表のリモート操作ができます。
(7 ページ ■外部信号入出力端子の接続例 参照)
18PIN の SHIFT と 1～9PIN を組み合わせると分割表示や他の操作をおこなえます。

PIN No.	機 能
1	単画面 1 表示 +SHIFT: 4 分割 A 表示
2	単画面 2 表示 +SHIFT: 4 分割 B 表示
3	単画面 3 表示
4	単画面 4 表示
5	単画面 5 表示 +SHIFT: 9 分割表示
6	単画面 6 表示
7	単画面 7 表示
8	単画面 8 表示 +SHIFT: 自動切換え、ライブ
9	単画面 9 表示 +SHIFT: 再生、フリーズ
17	COMMON
18	SHIFT

■ ボタン ロック



ライブ モード時に、オート シーケンス画面、1～9 単画面、各分割画面のいずれかロックしたい画面のボタンを 4 秒以内の間隔で 10 回連続して押します。

画面右上部に“Lock”の文字が 2 秒間表示され、そのボタンの画面表示および機能がロックされます。

ロック中にボタン操作をすると、画面右上部に“Lock”の文字が 2 秒間表示されます。

ロックを解除するには、ロックしたボタンを 4 秒以内の間隔で 10 回連続して押します。解除されると画面右上部に“UN Lock”の文字が 2 秒間表示されます。

メニュー設定

■メニュー表示

ライブモード中にMENUボタンを押すとMAIN MENU画面が表示されます。

※設定値が点滅状態でなければ、MENUボタンを押すことにより、設定画面を終了できます。



MAIN MENU

- ▷ 1. EVENT MEMORY 00
2. ALARM
3. TIME SIGNAL
4. VIDEO LOSS
5. TITLE
6. LIVE CHANNEL
7. VIDEO SET UP
8. VCR TRIGGER
9. OTHER

- 1.アラーム イベント記録
- 2.アラームの設定
- 3.時計の設定
- 4.ビデオロス表示の設定
- 5.タイトル文字の設定
- 6.画面表示の設定
- 7.ビデオセットアップの設定
- 8.VCRトリガ入力の設定
- 9.その他の設定

注意 ●メニュー表示中はアラームを受け付けません。

●ロック中はメニュー画面を表示できません。

●メニュー画面を表示している間はVCR出力にはチャンネルのタイトルの代わりに
“NOW SETTING”という文字を表示していますので、録画中のメニュー画面の
表示にはご注意ください。

■メニューの操作方法

①設定したい項目に、▲,▼ボタンでカーソル“▷”を移動し、ENTERボタンを押すと、各々のサブメニュー画面が表示されます。

②各サブメニューが表示されたら、設定したい項目に▲,▼ボタンでカーソル“▷”を移動させ、ENTERボタンで決定します。

③設定値が点滅したら、◀,▶,▲,▼ボタンで設定値を変更し、ENTERボタンで決定します。

④各サブメニュー画面の“ESCAPE”で前のメニューに戻ります。また、MENUボタンを押すと、メニュー画面が終了します。

※設定値が点滅中はMENUボタンを受け付けません。



メニュー設定

1.アラーム イベント記録(EVENT MEMORY)

MAIN MENU 画面の “ 1. EVENT MEMORY ** ” の ** にはアラーム イベントに記録されている件数を表示します。
※工場出荷時設定 00

“ 1. EVENT MEMORY ** ” にカーソル “▷” を合わせて ENTER ボタンを押すと ALARM EVENT 画面(右図)が表示されます。この画面にはアラームの記録(イベント番号,チャンネル,タイトル,日付,時刻)が表示されます。

ALARM NO.	EVENT CH.	DATE	PAGE01 TIME
01	01	CH01	
		99. 12. 31	23:59:55
02	01	CH01	
		99. 12. 31	23:59:56
03	01	CH01	
		99. 12. 31	23:59:57
04	01	CH01	
		99. 12. 31	23:59:58
05	01	CH01	
		99. 12. 31	23:59:59

記録は PAGE01～PAGE20(右上表示)まで 5 件ずつ最大 100 件まで記録されます。PAGE を進めたり戻したりするには ◀, ▶ ボタンを押します。アラームが 100 件を越えると、古い記録から消去されます。

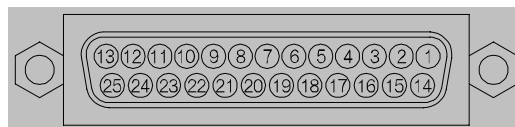
MAIN MENU 画面に戻るには、ENTER ボタンを押します。

注意

- イベント メモリ 100 件目からは、MAIN MENU 画面の “ 1. EVENT MEMORY ** ” の ** に “FULL” という文字を表示します。
- 101 件目からのアラームは、イベント メモリ 100 件目に挿入していきます。1 件目のデータは消去され、2 件目のデータが 1 件目に移動します。
- タイトルを途中で変更すると、アラーム履歴に記録していたそのチャンネルのタイトルも変更されます。
- イベント メモリは、デフォルト セットをおこなうと、すべて消去されます。

2.アラームの設定(ALARM)

外部信号入力端子 1～9 ピンに信号が入ったときのアラーム動作および表示の設定をおこないます。



※メニュー設定 “ 9. OTHER ” 内の “ 1. REMOTE IN ” が “ALARM” に設定されていることをご確認ください。
(19 ページ 9-1.REMOTE IN 参照)

2-1.EVENT ERASE

MAIN MENU の “ 1. EVENT MEMORY ” の履歴を消去します。

値	動作
NO	消去しない
YES	消去する

ALARM

- ▷ 1. EVENT ERASE
2. MODE-----INT.
3. DURATION TIME-030SEC.
4. VCR PATTERN---NONE
5. RETURN-----BEFORE
6. CAMERA←P. B. ---ON
7. EVENT NUMBER--ON
8. INPUT CONTACT-MAKE
9. ESCAPE

2-2.MODE

アラーム動作の保持モードを設定します。

値	動作
INT.	“ 4. DURATION TIME ” で設定した時間、アラーム動作を保持
EXT.	センサ等が入力されている間、アラーム動作を保持

※工場出荷時設定 INT.

2-3.DURATION TIME

アラーム保持時間を設定します。(001～999 秒)

“ 2. MODE ” が “ INT. ” のとき有効です。

※工場出荷時設定 030

メニュー設定

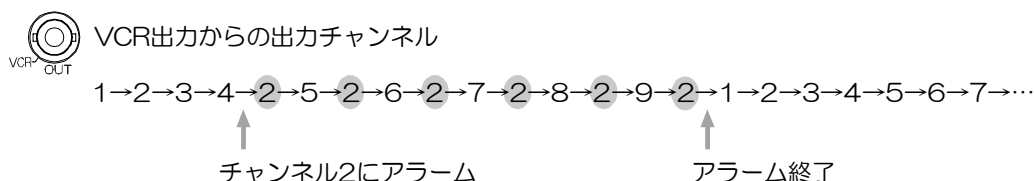
2-4.VCR PATTERN

アラーム入力時の VCR 映像出力の切換えパターンを設定します。

値	VCR 映像出力側の動作	モニタ映像出力 (MAIN) 側の動作
NONE I	録画動作 (タイム ラプスなど) は変化無し インターリーブ (高密度録画) 動作する	アラームが入力されたチャンネルを表示する。 複数のチャンネルにアラームが入力された場合は後のチャンネルを優先し表示する。
NONE	録画動作 (タイム ラプスなど) は変化無し	
FIX	複数のチャンネルにアラームが入力された場合は後のチャンネルを優先し出力する。 (モニタ映像出力と同じ出力)	
2H I	1/30 切換え出力する インターリーブ (高密度録画) 動作する	
2H	1/30 切換え出力する	

※工場出荷時設定 NONE

※インターリーブ動作とは、下図のようにアラーム入力のあったチャンネルが高密度で録画される動作です。



2-5.RETURN

アラーム保持時間解除後のモニタ表示を設定します。

値	動作
BEFORE	アラーム以前の状態に戻る
FIX	アラーム入力のあったチャンネルのまま表示

※工場出荷時設定 BEFORE

ALARM

- ▷ 1. EVENT ERASE
2. MODE-----INT.
3. DURATION TIME-030SEC.
4. VCR PATTERN---NONE
5. RETURN-----BEFORE
6. CAMERA←P. B. ---ON
7. EVENT NUMBER--ON
8. INPUT CONTACT-MAKE
9. ESCAPE

2-6.CAMERA←P.B.

VCR再生中またはVCRバイパス出力中のアラームの受け付けを設定します。

値	動作
ON	アラームを受け付ける
OFF	アラームを受け付けない

※工場出荷時設定 ON

2-7.EVENT NUMBER

アラーム動作中のイベント番号の表示を設定します。

値	動作
ON	画面左下部に“ALARM**”と表示 ※“**”は、イベント番号です。 ※イベント番号 100 件目からは、“-F”という文字を表示します。
OFF	画面左下部に“ALARM”と表示 ※アラーム イベントには記録されません。

※工場出荷時設定 ON

2-8.INPUT CONTACT

センサの検出接点の設定です。“2. MODE”が“INT.”のとき有効です。

値	動作
MAKE	センサ等が閉じたとき (立下りエッジ) で検出
BREAK	センサ等が開いたとき (立上りエッジ) で検出

※工場出荷時設定 MAKE

メニュー設定

3.日時の設定 (TIME SIGNAL)

日付,時計の設定をおこないます。表示位置は画面中央上です。
(電源 OFF 時の日時のバックアップ期間は約 1 ヶ月です)

3-1.30SEC.ADJUST

時計の 30 秒補正です。0~29 秒の間に ENTER ボタンを押すと、現在の時刻で秒が、00 となり、30~59 秒の間に ENTER ボタンを押すと、1 分進み 00 秒となります。

※メニュー画面を表示させなくても、ライブモード中に時刻の 30 秒補正をおこなうことができます。チャンネル セレクト ボタンの 1 と 9 を同時に押すと、時刻の秒の値が 00 となります。



TIME SIGNAL

- ▷ 1. 30SEC. ADJUST
- 2. CLOCK ADJUST
- 01. 12. 15 22:04:30
- 3. DISPLAY-----Y. M. D
- 4. MONITOR FULL---ON
- 5. MONITOR MULTI---ON
- 6. VCR OUTPUT-----ON
- 7. ESCAPE

3-2.CLOCK ADJUST

日付,時刻の設定をおこないます。
カーソル (▷) で選択し ENTER ボタンを押すと、左端の値から点滅します。◀,▶ ボタンで点滅を移動させ、▲,▼ ボタンで値を変更します。
ENTER ボタンを押すと日付,時刻が決定します。

- ▷ 2. CLOCK ADJUST
- 01. 12. 15 22:04:30

3-3.DISPLAY

日付の表示方式を設定します。

値	表示
Y.M.D	年.月.日
M-D-Y	月-日-年
D/M/Y	日/月/年

※工場出荷時設定 Y.M.D

3-4.MONITOR FULL

単画面への日付,時刻の表示/非表示を設定します。

値	動作
ON	単画面に日付,時刻を表示する
OFF	単画面に日付,時刻を表示しない

※工場出荷時設定 ON

3-5.MONITOR MULTI

分割画面への日付,時刻の表示/非表示を設定します。

値	動作
ON	分割画面に日付,時刻を表示する
OFF	分割画面に日付,時刻を表示しない

※工場出荷時設定 ON

3-6.VCR OUTPUT

VCR 出力への日付,時刻の表示/非表示を設定します。

値	動作
ON	VCR 出力に日付,時刻を表示する
OFF	VCR 出力に日付,時刻を表示しない

※工場出荷時設定 ON

メニュー設定

4.ビデオ ロスの設定 (VIDEO LOSS)

メニュー設定 “6. LIVE CHANNEL” 内の “3. VCR” 内の LIVE に設定されたチャンネルの入力映像がなくなったとき、ビデオ ロス状態となります。(18 ページ 6-3.VCR 参照)

4-1.MONITOR OUT

モニタ出力にビデオ ロスの表示/非表示を設定します。

値	動作
ON	モニタ出力画面中央上に “LOSS” 表示をする
OFF	表示しない

※工場出荷時設定 ON

VIDEO LOSS

- ▷ 1. MONITOR OUT --- ON
2. VCR OUT --- ON
3. ESCAPE

4-2.VCR OUT

VCR 出力にビデオ ロスの表示/非表示を設定します。

値	動作
ON	VCR 出力画面右上に “Loss” 表示をする
OFF	表示しない

※工場出荷時設定 ON

5.タイトルの設定 (TITLE)

各チャンネルのタイトル設定をおこないます。
※各画面のタイトル表示は下表のとおりです。

画面	表示文字数	表示位置
単画面	8 文字	移動可
4 分割	8 文字	中央下部固定
9 分割	チャンネル数字のみ	中央下部固定

TITLE

- ▷ 1. SET SELECT
2. POSITION SELECT
3. MONITOR FULL --- ON
4. MONITOR MULTI --- ON
5. VCR OUTPUT --- ON
6. ESCAPE

5-1.SET SELECT

各チャンネルのタイトル文字の入力をします。
各チャンネル 8 文字まで入力できます。
工場出荷時設定 “CH01” ~ “CH09”

- TITLE 画面で “1. SET SELECT” を選択すると、TITLE SET SELECT 画面が表示されます。
- TITLE SET SELECT 画面で、タイトル設定をおこないたいチャンネル (01~09) を選択すると、TITLE SET 画面が表示されます。
- 右下の図で上から 2 行目 “■■CH01■■” の部分が文字入力範囲 (8 文字) で、左端が点滅しています。
“■” で表示されているところはスペースです。
- ◀, ▶ ボタンで点滅を移動させ、入力したい場所 ENTER ボタンを押すと、下の文字一覧の同じ文字が点滅します。
- 文字一覧内の点滅を ◀, ▶, ▲, ▼ ボタンで移動させ、入力したい文字で ENTER ボタンを押すと、2 行目の文字入力範囲に入力されます。スペースの入力は “o” の左側や “A” の右側などで ENTER ボタンを押します。
- ④と⑤を繰り返して文字を入力します。
- 最後に 2 行目 “■■CH01■■” の右端へ点滅を移動させると “←” が表示されますので、そこで ENTER ボタンを押すと、前の TITLE SET SELECT 画面に戻ります。
- 他のチャンネルも②~⑦を繰り返して入力します。

TITLE SET SELECT			
CH.	TITLE	CH.	TITLE
▷ 01	CH01	09	CH09
02	CH02		
03	CH03		
04	CH04		
05	CH05		
06	CH06		
07	CH07		
08	CH08		
	ESCAPE		ESCAPE

TITLE SET

CHANNEL 01 ■■CH01■■←

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A アイウエオカキクケコ
B C D E F G H I J K L サシスセソタチツテト
M N O P Q R S T U V W ナニヌネノハヒフヘホ
X Y Z a b c d e f g h マミムメモヤエユエヨ
i j k l m n o p q r s ラリルレロワンアオッ
t u v w x y z - / < > ヤユヨ ° ~ : . ▷

メニュー設定

5-2.POSITION SELECT

各チャンネル単画面のタイトル文字の位置を設定します。

- ① TITLE 画面で“2. POSITION SELECT”を選択すると、TITLE POSITION SELECT 画面が表示されます。
- ② TITLE POSITION SELECT 画面で、タイトル位置設定をおこないたいチャンネル(01～09)を選択すると、TITLE POSITION 画面(例)が表示されます。
- ③ ◀, ▶, ▲, ▼ ボタンで点滅しているタイトル(右図では“CH01”)を移動させ、タイトルを表示させたい位置で ENTER ボタンを押すと、TITLE POSITION SELECT 画面に戻ります。

※ “FULL”, “CHANNEL01”, “FREEZE”, “ALARM01” はタイトルと重ならないように表示されています。

- ④ 他のチャンネルも②と③を繰り返して設定します。

※工場出荷時設定 中央下部

※4,9 分割画面のタイトル表示位置は中央下部に固定です。

```

TITLE POSITION SELECT
CH.  TITLE      CH.  TITLE
▷01   CH01      09   CH09
02   CH02
03   CH03
04   CH04
05   CH05
06   CH06
07   CH07
08   CH08
ESCAPE                ESCAPE
    
```

```

TITLE POSITION
FULL      CHANNEL01  FREEZE
    
```

```

ALARM01  CH01
    
```

5-3.MONITOR FULL

モニタ映像出力の単画面へのタイトルの表示/非表示を設定します。

値	動作
ON	単画面にタイトルを表示する
OFF	単画面にタイトルを表示しない

※工場出荷時設定 ON

※タイトル表示位置は移動できます。

(5-2.POSITION SELECT 参照)

```

TITLE
1. SET SELECT
2. POSITION SELECT
▷3. MONITOR FULL----ON
4. MONITOR MULTI---ON
5. VCR OUTPUT-----ON
6. ESCAPE
    
```

5-4.MONITOR MULTI

モニタ映像出力の 4,9 分割画面へのタイトルの表示/非表示を設定します。

値	動作
ON	分割画面にタイトルを表示する
OFF	分割画面にタイトルを表示しない

※工場出荷時設定 ON

※タイトル表示位置は中央下部に固定です。

※9 分割画面にはチャンネル数字のみ表示します。

5-5.VCR OUTPUT

VCR 出力へのタイトルの表示/非表示を設定します。

値	動作
ON	VCR 出力にタイトルを表示する
OFF	VCR 出力にタイトルを表示しない

※工場出荷時設定 ON

メニュー設定

6.画面表示の設定(LIVE CHANNEL)

オート シーケンス動作時と、VCR 記録出力のスキップの設定です。

6-1.SEQUENCE FULL

単画面のオート シーケンス動作時の各チャンネル映像の表示/スキップを設定します。

値	動作
LIVE	そのチャンネル映像を表示する
SKIP	そのチャンネル映像をスキップする

※工場出荷時設定 CHO1~CHO9 : LIVE

※映像入力のないチャンネルはかならず SKIP に設定してください。

※すべてのチャンネルを SKIP にすることはできません。

※SKIP に設定したチャンネルにアラームが入った場合は、アラーム保持時間内はそのチャンネルを表示します。

LIVE CHANNEL

- ▷ 1. SEQUENCE FULL
- 2. SEQUENCE MULTI
- 3. VCR
- 4. ESCAPE

LIVE CHANNEL SEQ. FULL

- | | |
|-----------|---------|
| CH. | CH. |
| ▷ 01 LIVE | 09 LIVE |
| 02 LIVE | |
| 03 LIVE | |
| 04 LIVE | |
| 05 LIVE | |
| 06 LIVE | |
| 07 LIVE | |
| 08 LIVE | |
| ESCAPE | ESCAPE |

6-2.SEQUENCE MULTI

分割画面のオート シーケンス動作時の各分割画面映像の表示/スキップを設定します。

値	動作
LIVE	その画面を表示する
SKIP	その画面をスキップする

※工場出荷時設定 4A,4B: LIVE

9A : SKIP

※すべての分割画面を SKIP にすることはできません。

LIVE CHANNEL SEQ. MULTI

- ▷ 4A LIVE
- 4B LIVE
- 9A SKIP
- ESCAPE

6-3.VCR

VCR 出力の各チャンネル映像の出力/スキップを設定します。

値	動作
LIVE	そのチャンネル映像を VCR 出力する
SKIP	そのチャンネル映像をスキップする

※工場出荷時設定 CHO1~CHO9: LIVE

※映像入力のないチャンネルはかならず SKIP に設定してください。

※すべてのチャンネルを SKIP することはできません。

※SKIP に設定したチャンネルにアラームが入った場合は、アラーム保持時間内はそのチャンネルを VCR 出力(記録)します。

※LIVE に設定したチャンネルの映像入力なくなるとビデオ ロスとなります。

(16 ページ 4.ビデオ ロスの設定 参照)

LIVE CHANNEL VCR

- | | |
|-----------|---------|
| CH. | CH. |
| ▷ 01 LIVE | 09 LIVE |
| 02 LIVE | |
| 03 LIVE | |
| 04 LIVE | |
| 05 LIVE | |
| 06 LIVE | |
| 07 LIVE | |
| 08 LIVE | |
| ESCAPE | ESCAPE |

メニュー設定

- 7.ビデオ セットアップ設定 (VIDEO SET UP)
カメラ映像,VCR 再生映像,VCR 出力の色調整をおこないます。

7-1.LIVE COLOR

カメラ映像の色設定をおこないます。
(00~15)

※工場出荷時設定 00

7-2. P.B. COLOR

VCR 再生映像の色設定をおこないます。(00~15)

※工場出荷時設定 00

7-3.RECORD COLOR

VCR 出力の色設定をおこないます。(00~15)

※工場出荷時設定 00

VIDEO SET UP

- ▷ 1. LIVE COLOR----00
2. P. B. COLOR----00
3. RECORD COLOR--00
4. ESCAPE

- 8.VCRトリガの設定 (VCR TRIGGER)

録画機器からのトリガ信号入力の設定です。

8-1.MODE

トリガ入力信号に対する VCR 出力の切換えタイミングを設定します。

値	動作
LOW	トリガ信号の立下りで切換え
HIGH	トリガ信号の立上りで切換え
OFF	トリガ信号を受け付けない

※工場出荷時設定 LOW

VCR TRIGGER

- ▷ 1. MODE-----LOW
2. FIELD-----002
3. 3. 37mSEC.
3. ESCAPE

8-2.FIELD

マニュアルで VCR 出力の切換えタイミングを設定します。(002~999)

“1. MODE” が “OFF” のとき設定が有効です。

※工場出荷時設定 002

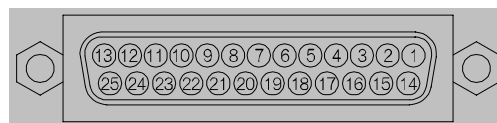
- 9.その他の設定 (OTHER)

9-1.REMOTE IN

背面外部信号入出力端子 1~9 の設定です。

値	設定
ALARM	アラーム入力として使用する場合
REMOTE	リモート入力として使用する場合

※工場出荷時設定 ALARM



9-2.BORDER LINE

分割画面のボーダーライン(境界線)を設定します。

値	動作
OFF	ボーダーラインを表示しない
BLACK	黒のボーダーラインを表示
WHITE	白のボーダーラインを表示

※工場出荷時設定 OFF

OTHER

- ▷ 1. REMOTE IN-----ALARM
2. BORDER LINE---OFF
3. INTERFACE-----RS-232C
4. DATA RATE-----9600bps
5. AUTO SEQ. TIME-003SEC.
6. SPOT MONITOR--CH. 01
7. SLAVE ADDRESS-00
8. ESCAPE

メニュー設定

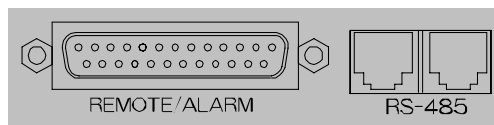
9-3.INTERFACE

外部制御信号の規格を選択します。

値	動作
RS-232C	RS-232C を使用する
RS-485	RS-485 を使用する

※工場出荷時設定 RS-232C

※RS-485 を使用する場合、最大 31 台の MCS-940A を制御できます。



9-4.DATA RATE

RS-232C/RS-485 のデータ レートを設定します。

1200/2400/4800/9600(bps) から選択します。

※工場出荷時設定 9600(bps)

9-5.AUTO SEQ.TIME

オート シーケンス動作の切換え時間を設定します。

001~999(秒) から選択します。

※工場出荷時設定 003(秒)

OTHER

- ▷ 1. REMOTE IN-----ALARM
- 2. BORDER LINE---OFF
- 3. INTERFACE-----RS-232C
- 4. DATA RATE-----9600bps
- 5. AUTO SEQ. TIME-003SEC.
- 6. SPOT MONITOR---CH. 01
- 7. SLAVE ADDRESS-00
- 8. ESCAPE

9-6.SPOT MONITOR

スポット映像出力端子のライブ モードの単画面表示チャンネルを設定します。

CH.01~CH.09 から選択します。

※工場出荷時設定 CH.01

※チャンネルのタイトルは表示されません。



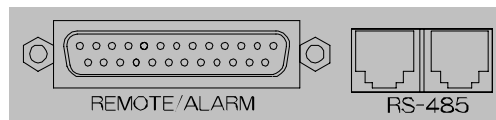
9-7.SLAVE ADDRESS

RS-485 を使用する場合、スレーブ アドレス(号機)を設定します。

スレーブ アドレス:00~30

※工場出荷時設定 00

※RS-485 を使用する場合、最大 31 台の MCS-940A を制御できます。

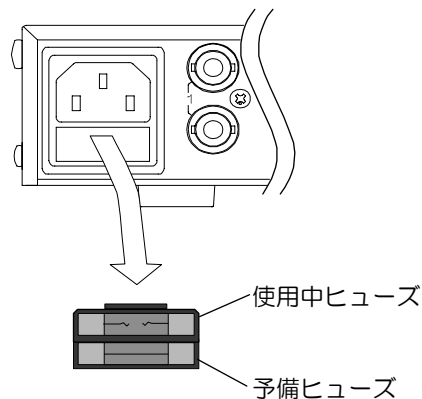


ヒューズの交換方法

電源が入らない場合はヒューズが溶断していることが考えられます。

ヒューズ ケースを引き出して使用中のヒューズを確認し、溶断している場合は予備ヒューズと交換してください。

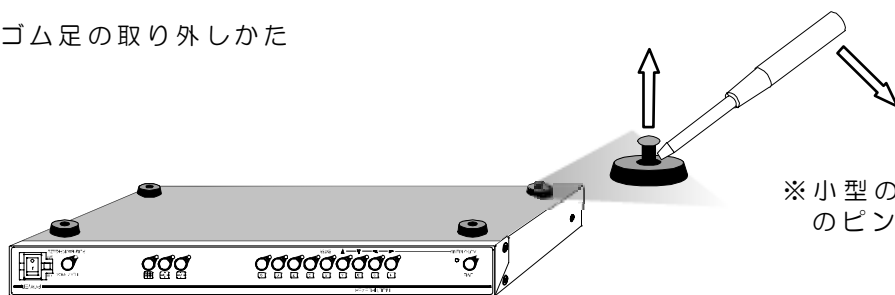
ヒューズ仕様： ガラス管ヒューズ(φ5.2×20)
125V 1A



ラック マウント方法

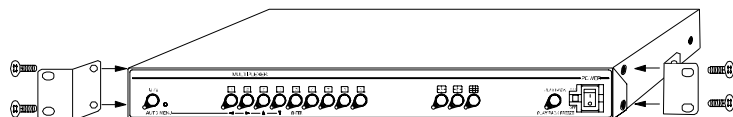
MCS-940A は 19 インチ ラック (JIS/EIA) に据え付けてご使用いただけます。
ラック マウント キットはオプションです。次ページの製品仕様もご覧ください。

■ ゴム足の取り外しかた



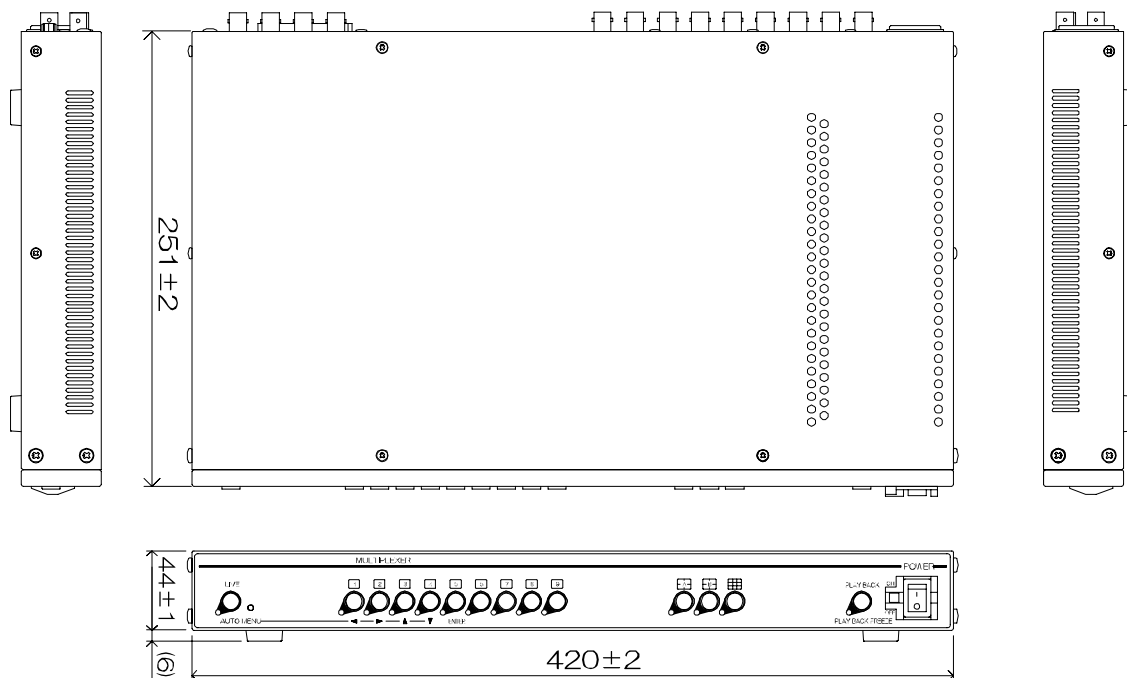
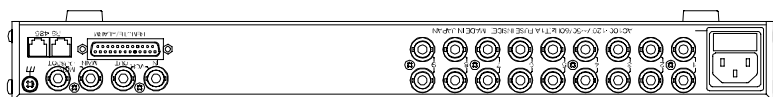
※ 小型のマイナス ドライバ等で中のピンを取り外してください。

■ 金具の取り付けかた



製品仕様

■ 映像入力	NTSC 方式準拠
■ カメラ映像入力	VBS,VS 1.0Vp-p 75Ω終端 不平衡 9系統×2(ループ スルー) BNC 端子
■ VCR 映像入力	VBS,VS 1.0Vp-p 75Ω終端 不平衡 1系統 BNC 端子
■ モニタ映像出力	VBS 1.0Vp-p 75Ω終端 不平衡 2系統(メイン,スポット) BNC 端子
■ VCR 映像出力	VBS 1.0Vp-p 75Ω終端 不平衡 1系統 BNC 端子
■ アラーム信号入力	9系統 D-Sub コネクタ(メス) 無電圧メイク/ブレイク接点(TTL レベル) パルス幅:100msec.以上 パルス間隔:200msec.以上
■ アラーム信号出力	1系統 D-Sub コネクタ(メス) オープン コレクタ DC12V 100mA 以下
■ トリガ入力端子	1系統 D-Sub コネクタ(メス) TTL 正/負レベル
■ RS-232C	1系統 D-Sub コネクタ(メス) RXD,TXD,COMMON RS-232C 信号規格準拠
■ RS-485	1系統 モジュラ ジャック(RJ11)×2(ループ スルー) RS-485 信号規格準拠(Half Duplex)
■ リフレッシュ レート	単画面,4 分割画面:1/60(秒) 9 分割画面: 1/10(秒)
■ 自動映像切換え	1~999 秒(単画面/分割画面)
■ タイトル表示	各チャンネル最長 8 文字 単画面,4 分割画面:8 文字表示 9 分割画面:チャンネル数字のみ表示
■ 周囲温度	0~40℃(但し、結露無きこと)
■ 電源電圧	AC100V±10% 50/60Hz
■ 消費電力	約 16W
■ 外形寸法	420(W)×251(D)×44(H)(mm) (ゴム足、突起部除く)
■ 質量	約 3.3kg
■ 付属品	電源ケーブル(電源コードセット)1 予備ヒューズ(本体内部蔵)1 取扱説明書(本書)1
■ オプション	ラック マウント キット(JIS) RMI-J1-421(ラック マウント金具×2) ラック マウント キット(EIA) RMI-E1-421(ラック マウント金具×2) ※オプションにつきましては販売店までお問い合わせください。



故障かなと思う前に…

症 状	確 認 事 項
映像が出ない	●電源ケーブルがコンセントからはずれていませんか ●電源スイッチは ON になっていますか ●本機の電源ヒューズが切れていませんか ●カメラからの映像信号は、入力されていますか ●モニタにモニタ出力が正しく接続されていますか
映像にノイズが出る	●カメラの同軸ケーブルは、正しく接続されていますか ●カメラの同軸ケーブルの近くに電源線がありませんか
単画面表示にならない	●モニタに VCR 出力が接続されていませんか ●前面部の PLAY BACK ボタンの LED が点灯していませんか
操作がきかない	●ロック機能がはたらいていませんか
録画ができない	●VCR に VCR 出力が正しく接続されていますか ●外部トリガによる切換え、プログラム トリガによる切換えは正しく設定されていますか ●プログラム トリガで使用する場合、タイム ラプス VCR の録画する間隔と、本機の VCR 出力の映像を切換える間隔は正しく設定されていますか
リモートおよびアラーム入力が正常に動作しない	●ケーブルの配線は、正しく接続されていますか ●配線ケーブルにノイズがのっていませんか ●スイッチ、リレー接点に 0.01～0.1 μF のセラミック コンデンサを取り付けてありますか

修理を依頼されるときは

- 本機が正常に動作しないときは、次の操作をおこなってください。それでもなお異常のあるときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

- ・デフォルト セットして各設定値を工場出荷時設定に戻し、動作をご確認ください。
- ・「安全上のご注意」「故障かなと思う前に…」をもう一度ご覧いただき、環境、動作をご確認ください。

- 修理をお申し付けいただくときは、次のことをご知らせください。

品 名 : 9チャンネル マルチ プレクサ MCS-940A

症 状 : 設置状態を含め、できるだけ詳細にお知らせください。

品質保証規定

取扱説明書の注意事項に従った使用状態で、ご使用中に発生した故障については、お買い上げの日より1年間、無償にて修理させていただきます。

※保証期間内であっても、下記の場合有償となる場合がございます。

- ①お買い上げの年月日、および販売店について証明となるものをご提示いただけない場合。
- ②ご使用上の誤り、他の機器から受けた障害、または不当な修理や改造による故障および損傷。
- ③お買い上げ後の移動、輸送、落下などによる故障および損傷。
- ④火災、地震、水害、落雷、その他天変地異のほか公害、塩害、異常電圧などが原因となって発生した故障および損傷。
- ⑤故障の原因が本機以外にあり、本機に改善を要する場合。
- ⑥付属品などの消耗品による交換。

おことわり

本機はその特徴上犯罪や災害等の監視のためにご使用されるケースが考えられますが、決して犯罪や災害の抑制および防止器ではありません。

また本機のご使用方法の誤り、不当な修理や改造のほか、誘導雷サージを含む天災などの被害により発生した事故や人身事故および災害、盗難事故による損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

保 証 書

品 名 : MCS-940A	本体裏シールの SER. No. (製造番号) をご記入ください N o .	
お客様名 : ご住所 〒 TEL:		取扱販売店名・住所・電話番号 様
保 証 期 間	お買い上げ日 年 月 日 より 1 年間	

Artics

株式会社 アルテックス

住 所 神奈川県相模原市南区麻溝台 8-22-1
営業部ダイヤルイン 042(742)2110
F A X 042(742)3631
E - M A I L info@n-artics.co.jp
U R L http://www.n-artics.co.jp